



吉田町は、道路網など交通インフラが近隣の市町の整備には、時代の先を見越した先人の洞察力によるところが大きいものと受け止めています。そして、私たちが享受している当町の現在の豊かさは、まさに道路網の整備のおかげでもあると思います。遠州の東端に位置する一寒村にすぎなかった吉田村が発展して吉田町となり、今大きく羽ばたいているのは先人の洞察力と都市基盤、取り分け道路網の着実な整備を進めた結果でもあり、私たちは先人の努力に感謝しなければならぬと考えます。だからこそ、私たちは私たちに続く後人のために時代の先を見越して都市基盤の整備を着実に進め、後人のために豊かな明日を贈らなければならないのです。

当町の10年先、20年先を見越した道路網の要となる幹線道路の早期形成を目指して、この平成23年度、24年度、25年度の3力年にわたり道路整備事業を集中的に押し進めます。当町の新たな東西軸・南北軸を形成する幹線道路は、都市計画道路榛南幹線と都市計画道路東名川尻幹線（主要地方道島田吉田線）であり、これに平成25年度の開通が見込まれる大井川新橋（はばたき橋）が加わることで、10年先、20年先にはこれまでと大きく異なった町の姿が生まれるものと考えています。

新たな南北軸・東西軸の形成は、すべてがバラ色の明日を産み出すものとは限りません。車の流れが変わることによって、モノの流れ、ヒトの流れが変わることは避けられません。取り分け、注意を払わなければならない点は、現在の当町の中心軸を形成している国道150号における車の流れがどのように変化するか見極める必要があることです。

吉田線の整備、東名高速道路の建設と東名吉田インターの開設、東名急行バス路線の運行の三者が起こした相乗効果によるものではないのでしょうか。しかしながら、豊富な水資源をよりどころとした富士フィルム(株)など大企業の進出に留まらず、今後の企業誘致による町の更なる発展を考えれば、新たな幹線道路の整備と既存道路の有機的なつながりを明日のまちづくりの観点から確かなものとするとともに、その整備を急ぐ必要があると考えています。

新たな幹線道路の整備

先ほど、平成23年度、24年度、25年度の3力年は道路整備事業を集中的に押し進めますと申し上げましたが、それは当町の新たな東西軸、南北軸となる榛南幹線と東名川尻幹線です。この2本の基幹道路は平成25年度中に開通の予定となつ

ています。

まず、榛南幹線ですが、この基幹道路は主要地方道焼津榛原線にとつて代わるものであり、交通量のキャパシティを飛躍的に拡大し、将来的には国道473号と交差し、国の重要港湾に指定された御前崎港につながり、当町の物流を大きく変革するものと思われまふ。道路の建設ですが、住吉地区についてはほぼ用地買収が山を越し、逐次、工事に入ってまいります。住吉地区においてはこれといった問題はありませぬ。また、湯田川への架橋工事と川尻地区における道路建設工事ですが、前者の架橋工事については順調に進んでおり、平成25年度中の開通には全く問題がないと聞いています。また、後者については川尻地区で進められている浜田土地区画整理事業との絡みがありますが、土地区画整理事業は集中的に榛南幹線と後述する東名川尻幹線の道路建設に絞って進めるように浜田土地区画整理

町長からのメッセージ 96

我が町の明日のまちづくりについて…⑤

— 都市整備 —



現在の道路網の課題

現在、当町の幹線道路は東西軸として富士見橋を渡って町の中心を走る国道150号、太平橋を渡って町の南部を走る主要地方道の焼津榛原線、南北軸として主要地方道の島田吉田線および一般県道の住吉金谷線と吉田港線をそれぞれ挙げる事ができます。しかしながら、東西軸、南北軸を形成するそれぞれの道路は当町の発展のシンボルとして位置付けられる東名吉田インターとの有機的なつながりに欠けていることは一目瞭然です。このことが背景となり、まちの発展が均質ではなく、南に偏ったきらいが見受けられます。

それでは、現在の道路網の課題について考えてみましょう。まず、町の中心を貫く国道150号は唯一の基幹道路だけに多くの車がこれに流れ込み、朝・晩のラッシュ時には大渋滞を起しています。人間の身体に例えれば、朝晩は慢性的便秘症状に悩まされ、体調不良

に陥っているということでしょうか。

次いで、太平橋を渡って牧之原市に抜ける主要地方道焼津榛原線ですが、国道150号と同じように朝・晩のラッシュ時は大渋滞を呈するだけではなく、交通量のキャパシティが大きくないことから当町の南部地域だけを潤わせる結果となっています。

最後に、主要地方道島田吉田線ですが、この道路は国道150号と交差することで大動脈である国道150号を流れる血液を南北に分流する機能をもっているものの、主要地方道焼津榛原線と同じように交通量のキャパシティが大きくないことから国道150号と交差することで産み出される当町の中核部分を形成するまちづくり効果も期待に沿うものではありませんでした。

現在、都市の形成という観点から当町を眺めると、町の中心部は役場周辺地域で国道150号の南北に形成されています。この動きは、国道150号と主要地方道島田

組合にお願いしています。

このところ、少しずつですが、道路の形が見え始めてきました。

次いで、東名川尻幹線ですが、これは主要地方道島田吉田線バイパスと呼ばれる道路であり、現在の主要地方道島田吉田線にとつて代わり、交通量のキャパシティを飛躍的に拡大させるばかりでなく、当町の北部地区と南部地区を結び合わせる背骨の役目を果たすものです。また、聞き慣れないことですが、現在、大井川新橋（はばたき橋）を渡って西に延びて主要地方道島田吉田線につながる道路も主要地方道島田吉田線と呼ばれています。この東西に走る道路は、県の平成12年に行われた見直しで棚上げされたものの、計画では静岡空港まで伸びることになっています。したがって、私たちが東名川尻幹線と呼んでいる道路は縦軸の主要地方道島田吉田線であり、横軸の主要地方道島田吉田線もあることに注意す

る必要があります。

この東名川尻幹線を含めた主要地方道島田吉田線は島田市、焼津市、吉田町を結ぶ道路であり、将来的には静岡空港を巻き込んだ当町の発展を促すものと言えます。

そのほかの幹線道路に準ずる道路の建設

町の中心を貫く国道150号と榛南幹線・東名川尻幹線によって当町は次世代の基幹となる幹線道路網が完備されますが、この幹線道路網を強力に補強する幹線道路に準ずる道路の建設が伴わなければ、スピード感を保持してまちづくりを進めることはできません。

次世代の基幹となる幹線道路網を補強するには、当町の東と西の地域を南北に走る2本の道路と住吉地区の発展を促進する1本の道路の整備を榛南幹線と東名川尻幹線の開通予定時期に合わせて進める必要があります。

当町の東と西の地域を南北に走る道路とは、都市計画道路大幡川幹線と住吉地区の「カインズホーム」に沿って榛南幹線につながる住吉幹線であり、住吉地区の発展を促進する道路とは「ファッションセンターしまむら」に沿って「カインズホーム」に至る町道馬場東村線以西の舞台民附線であり、その整備内容は道路幅に他なりません。

大幡川幹線の建設が動き始めるか否かは予断を許しませんが、現在、この道路の建設を巡る協議が進んでおり、それほど遠くない時期に結論が下されると聞いています。また、住吉幹線と舞台民附線は町の意思で進めることは可能ですが、問題は財政的に裏付けされるか否かに懸かっています。平成25年度中に予定されている基幹となる幹線道路網の整備に合わせ、幹線道路に準ずる上記の3本の道路の整備が並行するよう最大限の努力を傾けたいと考えています。